

平成30年10月 定例記者会見（報告）

1 日 時 平成30年10月23日（火）午前10時30分～午前10時55分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>河北新報、置賜日報デジタル、米澤新聞社、山形新聞、朝日新聞
毎日新聞、読売新聞、NHK

<市> 市長、秘書広報課長、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 東北中央道開通一年の成果と課題をどのようにお考えですか。
- (2) その他

5 内 容

○秘書広報課長

それでは、平成30年10月の定例記者会見を始めさせていただきます。この度は、一つ質問を頂戴しております。初めに、市長からお答えさせていただきます。

○市長

はい。今回は「東北中央道開通一年の成果と課題をどのようにお考えですか」という質問を頂戴しております。開通によって国道13号花沢地内の交通量は、開通前よりも増えております。交通量が多くなっているということは、何らかの経済効果も生まれているのではないかと思います。そして、やはり特筆されますことは、道の駅米沢の来館者数が100万人を突破したことです。年間の目標数もだいぶ上方修正しているようであります。その中でも県外ナンバーは50%を超えており、そのほとんどが東北中央自動車道を利用して道の駅へ来館されているということを考えると、全体量にカウントされていない部分についても、県外ナンバーが増えていると思います。このように道の駅米沢につきましては、相当な経済効果が生まれていると思っております。

また、県との連携もありまして、県外から5社の企業を誘致させていただきました。企業の皆様とお話しさせていただくと、無料の高速道路が開通したことによる物流コストの削減が大きな要因であったようです。

さらに、米沢－福島間が開通し、単に交流人口が増えたのではなく、それが置賜全体に波及しているということも聞いております。例えば、白鷹町のヤナ場でも県外ナンバーが増えているということを町長からもお聞きしました。観光や食などを目的と

して、米沢のみならず、3市5町全体に好影響が出ているのかなと思います。現在、定住自立圏の中で、3市5町全体で共生ビジョンを策定しておりますので、こういったものも活かされるように検討をしていきたいと思っております。全般的には、交流人口が拡大した中で、それぞれの地域の活性化も図られているのではないかと、またその住民の皆さんの利便性にも繋がっているのではないかと思います。

次に、課題についてお話しいたします。置賜全体に好影響が出ていると申し上げましたが、その対応については、まだまだ検討していかなければならないと思っております。道の駅が中心になる訳ですが、米沢だけのゲートウェイではありません。置賜全体のゲートウェイとして、相当数のお客様が道の駅米沢においてになっている訳です。そういった方々に米沢市内の観光施設や食の施設などをどう回遊していただくか、そして、地域の花や歴史資源もある置賜全体をどう回遊していただくか。このような周遊的な広域観光の充実にこれから取り組んでいかなければならないと思っております。その方策として、定住自立圏や置賜観光協議会の中で、周遊・広域観光についてどのように取り組むのか、どのように情報を発信するのかを考えていきたいと思っております。今までのまちなびカードは単発的な個々の対応でしたが、目的別や機能別など周縁的な対応も考えられます。このような周知の方法、情報の発信にどう取り組んでいくのかも大きな課題であります。

もうひとつは、高速道路が開通したことによって、どのようにアクセス道路を整備していくかということも問われていると思っております。置賜道路の整備促進大会などをキーにして、なるべく早く整備の実現ができるように取り組んでいかなければならないと思っております。道の駅米沢があまりにも好調すぎて、日の当たっている部分と影になる部分も出てきているようでありまして、今までの集客力が落ちているところもあると聞いております。この点につきましては、より多くの人に立ち寄りいただけるようなあり方を考え、その地域の魅力をどう発信していくのが重要となります。そこで、すでにお話しさせていただいているように、米沢そのものをブランディングしていくという対応を進めております。そのキャッチコピーは、『挑戦と創造』のあかし・米沢品質」というものです。11月から米沢ブランド宣言をさせていただきますが、この「米沢品質」というものを食だけでなく、コト、ヒトなど様々な場面で発信し、米沢全体をブランディングしていきます。その効果を見越した地域資源の磨き上げを行い、より多くの皆様に米沢に来ていただくという課題に取り組んでいかなければならないと思っております。

また、米沢－福島間が開通したことによって、広域経済圏については、単に置賜だけでなく、県境を跨いで広域連携の事業についても考えているようであります。例えば、福島県においては、福島市を中心とした圏域の連携推進協議会がまもなく立ち上がるということになっております。その中で、福島市のみならず、周辺自治体からもこの事業に米沢市も参画して欲しいという要請をいただきました。しかしながら、具体的にどう対応していくかということもあり、福島圏域の連携事業については、米沢市はオブザーバーとして参加するというようにしております。広域経済や観光がど

のように本市のプラスになるのか、効果が出るようどのように進めていくのか、ということについてもこれからの課題であるといえます。

このような課題に加えて、就業や消費行動、人口流出、俗に言うストロー現象も現れていると理解しています。就業につきましては、米沢はものづくりのまちであります。幅広い業種による就業の機会づくりにも取り組んでいく必要があると思っております。例えば、ファッション産業や食産業等をどう充実させていくのか、様々な業種による就業機会をどう増やしていくのかについて考え、米沢から離れて就業しなくても、「この業種だったら米沢でがんばってみよう」という気持ちの若者を米沢に留めておくことにも、取り組んでいかなければならないと思っております。

これからの大きな課題としては、高速道路開通の効果が一部の施設だけに留まるのではなく、全体が潤うようなものに結び付けていくことです。そのためには、米沢ブランディングにおける「米沢品質」を全てのものにつなげていき、より魅力のある地域づくりを進めていきたいと思っております。私からは以上です。

○秘書広報課長

市長からの回答は以上でございます。質疑がありましたら幹事社を中心によくお願いいたします。

○幹事社

現在、米沢市はある意味で高速道路の終着点のような形になっています。山形市へ向けて高速道路が開通されますが、これによってお客さんが素通りして山形市へ行ってしまうという心配もある一方で、山形市の方からお客さんが増えるという可能性もございます。これについてどのようにお考えでしょうか。

○市長

はい。高速道路は今年度中には山形市まで繋がるという予定になっております。この道路ができればより便利になって行動範囲が広くなり、就業の機会も幅広くなっていくということでもあります。このような影響も出てくると思えますし、高速道路を利用して米沢に来ていただけるということにも繋がってきます。一方で、先ほど申し上げましたように、全ての分野における米沢の魅力の磨き上げに取り組んでいかないと、ただ単に素通りされてしまうことも考えられます。米沢品質ブランディングの確立と情報発信をして、より多くの人に来ていただけるようなまちづくりを進めていかななくてはならないと思っております。

○幹事社

ありがとうございました。他に質問等ある方いらっしゃいますか。

○記者

広域経済という話のなかで、福島との連携という話がでてきました。米沢市はオブザーバーとして参加するということでしたが、詳細な内容を教えていただけますか。

○市長

只今、その資料を持ち合わせていないのですが、以前から国の中核連携事業として、県域を越えた経済活動をやっという動きがありました。現在、福島市は、宮

城県白石市と連携もしております。米沢市もどうですかという話もありましたが、具体的に何をどうしていくのかということが見えていなければなりませんし、安易に連携することが本当に米沢市のプラスになっていくのかということもありました。福島市の圏域には周辺の自治体が連携事業として加盟するようです。それぞれの自治体からも、是非米沢市もなんらかの形で加盟してくださいとのお話でした。これは相馬から福島、米沢へと通じる高速道路との関連があります。また、以前から市議会では福・米・相の連絡協議会も持っておりました。今は、伊達市が加わり、福・米・相・伊達という形で取り組んでおります。そして、商工会議所も以前から三商工会議所で連携し、すでに経済的な連携事業も進めているようでありました。今後、行政同士でなにができるのか、どういう方向性を目指していくのかについてしっかりと見据え、関わっていく必要があるのかなと思っております。

○幹事社

その他、質問等ある方いらっしゃいますか。

○記者

はい。海老名市議が来年の市長選に意欲を向けているということについて、市長のお考えをお聞かせください。

○市長

来年11月に市長選挙がありますが、市の一層の発展を期して立候補されたのでしょうから、表現が難しいのですが、それはそれで良いのかなとしか言いようがありません。

○幹事社

他に質問のある方はいらっしゃいますか。

○記者

はい。それに関連して質問です。まだ任期終了まで一年ありますが、ご自身はどのようなお考えなのでしょう。出馬するしないにしても、いつぐらいに態度表明をしたいと考えていらっしゃるのでしょうか。

○市長

来年の12月21日まで任期があり、その前の11月中には選挙があるのだろうと思っております。まだ一年もありますので、私に言えることは、課題になっている米沢市の事業に全力を挙げていくということです。自分の意志はしっかりと固まっておりますが、相談する人もおりますので、時期については正式表明までもう少しお時間を頂きたいと思っております。

○記者

意思是しっかり固まっているということですね。分かりました。

○幹事社

その他、いかがでしょうか。

○秘書広報課長

ないようですので、これで平成30年10月の定例記者会見を終了いたします。